第19号 令和3年10月29日発行



宫城県多賀城高等学校 さとく ゆたかに たくましく

# 熱戦

### ■体育祭実行委員長

3年4組 沼田 りん(岩切中出身)

技を成功させることができました。 身近な方々の努力や我慢のおかげで無事開催し、全競 もありましたが、先生方をはじめ、生徒一人一人、また なりました。分散登校もあり、開催できるかどうか不安 今年の体育祭は、昨年に引き続きコロナ禍での開催と

様々な制限があり、やりたか

学年の競技が応援できなかったのた競技ができなかったり、他 り、不満に感じた人もいたと思 思います。 たからこそ得られた成功だと のことに全力で取り組んでくれ を守り、今できることや目の前 います。ですが、全員がルール

年生の皆さんには、来年こそは が、今回の体育祭のようにお互 期にいる人も多いと思います た。現在、受験を控え、辛い時 校生活最後の行事となりまし なります。三年生にとっては高 の体育祭をもってすべて終了と で走り抜けましょう! いを励まし合い、最後まで全員 今年の多高三大行事も今回



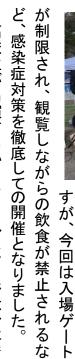
欲しいと思います。 コロナが収まって皆 盛り上げて行って 高をもっともっと 祭を作り上げ、多 とらわれない体育 と積極性で例年に さんの自由な発想

### 軽音楽部

# 仏島パークフェスィバル 202



このイベントを目当てに たりするなど、大いに賑 となりました。例年は、 スの影響で中止となって 年度は新型コロナウイル わいを見せるイベントで 店の移動販売が行われ の方々が公園一帯を自 訪れる音楽ファンや地元 しまい、2年ぶりの開催 由に出入りしたり、飲食



5度目となり、このステージを含め11の野外ステー 感あふれる素敵なイベントとなりました。 の空模様でしたが、午後からは晴れ間も見え、 日となりました。午前中は小雨がぱらつくあいにく ジが設けられ、松島海岸一帯が音楽に包まれる1 高校生が出演するハイスクールステージは今年で 開放

### ■軽音楽部部長

2年4組 佐藤 礼奈(幸町中出身)

できました。また、他の高校のバンドの演奏も聞くこと 披露、そして全員初めての野外ライブという、初めて尽 は初めての校外でのライブ、2年生はオリジナル曲の初 9バンドすべて全力でやり切ることができました。1年生 催でしたが、スタッフの方々、松島高校観光科のボラン することができ、音楽の楽しさや力を再認識することが ティアの生徒の方々、地域の方々のご協力のおかげで、 バルに参加してきました。当日は不安な天候の中での開 くしのライブでとても緊張していましたが、楽しく演奏 私たち軽音楽部は 10 月 17 日に松島パークフェスティ

るよう、頑張っていきます。 これからも皆さんに素敵な音楽を届けることができ

ができ、良い刺激を受けました。

# 科学部·災害科学科

# スサイエンスウ

2年生の有志生徒9名が参加しました。 環境調査が行われ、災害科学科1年生及び科学部 ウィーク in 仙台~野々島・うみの環境しらべ隊~の ンター(ブルーセンター)において、アースサイエンス 10月16日・17日の2日間、浦戸諸島開発総合セ

このイベントですが、昨

状について学び、未来の海洋環境や自分たちの生活 ク・ジャパンの一環として、塩竈市浦戸諸島野々島 ものです。本年度行われるアースサイエンスウィ 2018 年から日本国内のイベントとして開催している 学や自然科学の理解を深め、惑星の進化を学び、 における環境調査に参加することで、海洋ゴミの現 本地球惑星科学連合(JpGU)に協力要請があり、 地球環境史を認識するための国内外のイベント American Geosciences Institute)が、市民が地球科 について考える機会となりました。 「Earth Science Week」に端を発し、2013 年頃から日 このイベントは、アメリカ地球科学研究機関(AGI)

常生活と海洋との関連性を学ぶと共に、深海細菌 らも多くのことを学ぶことができました。 や海洋環境における第一線の研究者による講義か てつかみ取ることができました。この経験から、日 塩竈市野々島の海岸における海洋ゴミの採集によっ クによる宮城県沿岸の環境汚染の特徴を、実際に 参加した生徒は、海洋ゴミやマイクロプラスチッ



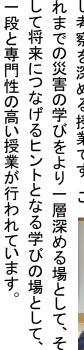


■2年5組 工藤 今回の「うみの環境しらべ隊」に参加して思ったことは、 万柚(多賀城中出身)

> ってしまっていることが原因の1つだそうです。確かに、で安心し、処理は誰かがやってくれるものと人任せにな これからは後先を考えて行動しようと思いました。はなく、人任せになっていました。今回の体験を通じて、私も本当にごみが処理されるのだろうかと考えたこと 洋ごみは1年間で 800 万tも排出されています。そもそ るが、実はとても難しい課題なのだということです。海 世界中で「海洋問題を解決しよう!」と声高に訴えてい もごみが増え続けるのは、人がごみを視界から除くだけ

#### 己意形成の技術 らしと安全B 特別授業

道のプロフェッショナルをお迎 式で特別授業が展開され、講 えし3時間連続の集中講義形 義の後のワークショップを通 「くらしと安全B」は、その )考察を深める授業です。こ



論は複雑化の一途をたどります。そのような中で、 まちづくりに向けた議論の中でよりよい合意形成 まざまな立場の人々が議論に参加することで、議 に向けたまちづくりの方向性を決定するときなした。災害後の避難所における運営のあり方、復興 賢一先生をお招きし、「合意形成の技術」を学びま こされるのかを学びました。 o目指すためには、どのような視点や方法が必要 、常にすぐとなりにあるのは「話し合い」です。さ 10月21日、京都産業大学生命科学部教授・佐藤

■3年7組 佐藤 小夏(塩竈二中出身)

なえるようにしたいです。 ことができ、今後の生活の中でその足りない部分をおぎ 来ました。さらに、リーダーが持つべき「5つの影響力のることがあった時にどう行動するべきかを知ることが出ームに所属することや、チームでリーダーとして活動す 源泉」のうち、今の自分に足りないものは何かを考える 際にこれから自分自身が社会に出た時に何かしらのチ と思いました。また、チームについて学ぶことができ、実 を達成するための過程を自分で意識することができる 私は今回の特別授業を通して、「目標設定をする時の 意義目標・成果目標・行動目標を立てることで、目標 分類」を学び、分かりやすさや可能性のレベルに合わせ